

山行番 NO. 1518
日 時 2012. 10. 21 (日) 無風快晴
山 域 天城・青スズ台 (1237m)
標高差 天城トンネル駐車場約600m～青スズ台1237m＝約637m＋約135m
参加者 後藤、村山兄・弟、小松、峰田、浜道、勝又薫、勝又陽、土屋、天野、諏訪部、柳田、伊藤、石和、井上＝15名



1. 天城トンネル下駐車場発 7:40

今回は3班に分かれ、地図読みと無線機の練習をすることになった。無線機は女性が担当となった。前の班が見えなくなったところで次の班が出発した。各班の位置は無線で互いに知らされる。現在位置をどのように表現するか、地図読みの力と周囲の状況を読み取る力が試され鍛えられていく。旧天城トンネル入り口までは階段が多く、疲れる。稜線に出ると、ここからは地図上の歩道からは外れ、尾根が道となる。地図では二点鎖線の境界線が我々のコースだ。目指すはただ、上である。傾斜が急なので滑らないようにつま先に力を入れ、足をハの字にする。汗は滴り落ち、息は上がる。脚はだんだん疲れてくるが、久しぶりの伊豆の山らしい登山で嬉しい。

秋はこれに限る。登山を始めたころは、こんな道なき道の登りは、滑らずに登るのが上手く出来ずに辛かったが、今は楽しい。人があまり入らないのか、自然が手つかずという感じだ。枝と根を思う存分自由に広げたブナや、見たことのないごっついヒメシヤラの木など驚きの連続だった。人に教えてあげたい風景ながら、知られたくない秘密の場所にもしたい。

2. 1170m峰 9:47

林道に出る前の最高地点に到着。ここから林道までは尾根がはっきりせず、尾根を読み間違えると全く違う方向に出る可能性があり、リーダーより無線でかなり細かい注意の内容が伝えられた。私たちの班は林道に出る方向に青スズ台のピークがあることに気づき、これを目印に進むことにした。注意深く周りを確認しながら降下したが、先を行く2つの班からは次々と予定の林道に出たとの無線連絡が入り、あっけなく難関が終了となった。林道に出てからは全員が一緒に歩き、緊張感から解放され、これぞさわやかハイクという感じだった。



道端には菊のような小さな白い花がたくさん咲いていた。さっきまでの野趣あふれる感じから一変してなんともさわやかなハイキングだ。予定より時間が早いので、計画を変更して八丁池へ行くことにした。私は八丁池に行くのは初めてで嬉しかった。思ったより大きくきれいである。小さな魚が警戒することなくたくさん泳いでいた。まさに天上の楽園。水草の生えた直径50cmくらいの島がいくつかある。とてもめずらしい。一周108m×8丁＝864mの池を一回りし青スズ台へ登る。

4. 青スズ台 11:10~13:00

最後の登りを、足の疲労を感じて登る。標高差40mほどで広い頂上に出た。荷を下ろし、各自がかつぎ上げた、豚汁の道具、材料、お湯を出し調理が始まる。今回も女性が調理をしたので、次回は男性がすることとなった。テキパキと慣れた手つきで調理されていくが、待ちどろしい。

待ち切れずビールをひと飲み。く一つ、たまらん。このために、頑張っけて登ってきたんだ。毎度のことながら、このビールの味に勝るビールはない。運転手さんすいません。諏訪部さんがなんと一升瓶で幻の酒「磯自慢」を担ぎあげた。頂上で一升瓶を回す。大きな一升瓶が山に頂上で絵になる。初めて飲む磯自慢はぬるっとなめらかでミルクィな味だった。一升も飲みきれるか心配したが、しっかり飲みきった。そして待つてました豚汁の完成。味付けも良く具沢山で、これだけで昼ごはんは十分である。何杯もお代わりをしてお腹いっぱいになった。

13:00下山開始。下りは整備された道をのんびりと話をしながら下りて行っった。それでも自然の中にある実感で幸せになる。耳を澄ませば鳥の鳴き声に囲まれていることに気づく。



どうだ「磯自慢」だ！！



青スズ台頂上



5. 駐車場着 14:40

無事駐車場に到着。ここで諏訪部さん宅へ行く人と帰る人で別れた。



6. 諏訪部宅 16:10~19:00

諏訪部さんの貴重なコレクションを見せていただく。うわさの200万円で譲り受けたピッケルのほか、部屋中の壁にピッケルが飾られ、壁にかけられないものも大量である。刀鍛冶がつくる曲線はやはり日本刀のように美しい。戦闘機などと同じで完成されたものは美しいといわれる。終わりになき諏訪部さんの説明をそこそこに飲み会が始まる。ここでもご自慢の冷酒が登場。今度はすっきり辛口である。きれいな山の写真をさせていただき感心する。その後、なぜか登場したギターでフォークソングを歌い、後藤さんピアノまで披露された。楽しい時間は早く過ぎる。私にとっては、5月の富士山以来の登山でしんどかったが、それ以上に楽しいことが満載の1日でした。

ピッケル
コレクション



何やら嬉しそうな
Kさん

↓山内NO. 1ピッケル



交流会

諏訪部さんの
ご母堂

